

(本件に関する照会先)

日本銀行高松支店 総務課 087-825-1102

2020年7月16日

日本銀行高松支店

香川県金融経済概況

1. 概況

- 香川県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きが続いている。

すなわち、設備投資は弱めの動きとなっている。個人消費は、大幅に減少した状態にあるが、足もと一部に持ち直しの動きがみられている。住宅投資は弱めの動きとなっている。この間、公共投資は高水準となっている。こうした中、企業の生産動向は、足もと一部業種で生産水準が切り下がるなど、一段と弱い動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。この間、企業の業況感は、大幅に悪化している。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、弱めの動きとなっている。

6月短観における設備投資（全産業）をみると、2020年度は、前年を下回る計画となっている。

個人消費は、大幅に減少した状態にあるが、足もと一部に持ち直しの動きがみられている。

大型小売店の売上は、減少したあと、足もと持ち直しの動きがみられている。

乗用車販売は、大幅に減少している。

家電販売は、足もと増加している。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共投資は、高水準となっている。

- 企業の生産動向は、足もと一部業種で生産水準が切り下がるなど、一段と弱い動きとなっている。

化学は、振れを伴いつつも、高めの水準で推移している。電気機械は、高めの水準となっている。非鉄金属、食料品、プラスチック製品は、横ばい圏内の動きとなっている。輸送機械は、弱めの動きとなっている。金属製品、窯業・土石は、減少している。汎用・生産用機械は、足もと大幅に減少している。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。
- 消費者物価（除く生鮮食品）は、0%台半ばのマイナスとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（5月）は、前月に比べ前年比プラス幅が拡大した。

貸出約定平均金利は、前月比低下した（県内国内銀行ベース、5月末0.894%〈前月末0.930%〉）。

- 預金（5月）は、前月に比べ前年比プラス幅が拡大した。
- 倒産（6月）は、件数は前年を下回った。負債総額は、前年を上回った。信用保証協会の代位弁済は、低水準となっている。

以 上